



☆プラネタリウム リニューアルオープン☆

2025年11月20日に開館30周年を迎える相模原市立博物館のプラネタリウムが

7月16日(水)に世界最高峰の性能を誇るプラネタリウムとして生まれ変わります!

それにちなんでプラネタリウムの歴史や星座、宇宙に関する本をご紹介します!

440.76 『全国プラネタリウムガイド』

日本プラネタリウム協議会／監修

恒星社厚生閣 2015

S440.76 『プラネタリウム男』

大平貴之／著 講談社現代新書 2016

443 『ときめく星空図鑑』

山と溪谷社／編 山と溪谷社 2012

440.4 『夜、寝る前に読みたい宇宙の話』

野田 祥代／著 草思社 2022

本の寄贈お待ちしております

読み終えた本を橋本図書館に寄贈しませんか?
皆さまからの本の寄贈をお待ちしております。
雑誌やまんが、破損や汚れがある本、出版から年数が
経っている本など、一部寄贈をお受けできないものも
ありますが、ご希望の方はご連絡ください。



※寄贈本をお持ちいただいた際はお手数
ですがスタッフにお声かけください。

※ご寄贈いただいた本の扱いは図書館に
一任とさせていただきます。

↑詳しくはこちらから(図書館HPにつながります。)

7月～9月の展示や動画配信など

図書館ホームページ、フェイスブック、
X(エックス)、ユーチューブまたは、
館内ポスターをご覧ください♪



相模原市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

イベント報告&お知らせ

「こどもフェス」

5月3日(土)、4日(日)、5日(月)

報告



今年度は3日のおはなし会のほかに、こいのぼりキットの配布やおりがみコーナー、しんぶんかぶとコーナーで多くの方楽しんでいただきました。

しろくまくんのフォトスポットでは、完成した作品と一緒に写真を撮る参加者もいらっしゃいました。

「布えほん展」

5月10日(土)、11日(日)

報告



布えほんの展示は毎回楽しみにされている方が多く、今年の作品にも感嘆の声があがっていました。

おはなし会は、全3回で合計82名の参加があり、注目度が高いことが感じられました。参加されたみなさんが、布えほんでのおはなしの世界を楽しんでいる様子が伝わってきました。

イベント予告

★7/1(火)～8/31(日)…YA大賞2025募集

(7月発行の「Youthful Days + PLUS Vol.122夏号」に詳細が載っています)

★7/26(土)…調べ学習講座

★8/16(土)…講演会「40代からのライフプラン」

*開催時期が近づきましたらご案内いたします。詳しくは館内の掲示、ホームページをご覧ください。

スタッフおススメ本

754.9

『おとなかわいいお花の切り紙スタイルブック』



日本ペーパーアート協会／監修 日東書院本社 2015

四季に合わせたお花の立体紙工作が紹介されています。道具の紹介や基本のテクニック、専用の型紙が掲載されているのではじめての人でも簡単に作ることが出来ます。慣れてきたらアレンジ方法や応用作品を参考に、自分だけの特別な作品も作れちゃいます。

平面から立体へ、見慣れた画用紙が本物そっくりのステキなお花に変身します。ぜひ挑戦してみてください。

911.168

『うたたねの地図 百年の夏休み』



岡野 大嗣／著 実業之日本社 2024

どの街にもある身近な場所が歌集の中に出てきます。その場所は歌人の中の光景であるはずなのに、かつて同じシーンを見ていたかのように心の中にストンと入ってくる歌があります。

歌人が紡いだ言葉とそこに生まれるリズムは、夏のとある一日に、どこか知らない街を不思議な地図を見ながら歩いた気分させてくれるでしょう。

歌集のタイトルの2つの意味をお楽しみください。

Eシ

『ちゃんとたべなさい』



ケス・グレイ／文 ニック・シャラット／絵 よしがみ きょうた／訳 小峰書店 2002

デイジーは緑のお豆が大嫌い。でもママはお豆を食べなさいと言います。それでもデイジーはお豆を食べません。さて、ママはどんな作戦にでるのでしょうか。デイジーはお豆を食べるのでしょうか。スケールが大きく、繰り返しの言い回しが楽しいイギリスの絵本です。

イギリスの子どもたちが選ぶ2001年度チルドレンズ・ブック賞絵本賞大賞受賞作。ぜひ手に取ってみてください。

488

『鳥肉以上、鳥学未滿。 HUMAN CHICKEN INTERFACE』



川上 和人／著 岩波書店 2019

鶏肉の部位を通して鳥の進化や構造を解説した一冊。

「ももすももも太ももではない」「ボンジリ隠して尻隠さず」などダジャレ満載の目次に興味をそそられ、著者のユーモアあふれる語り口と豊富な知識により、専門的な内容も親しみやすく楽しめます。

読んだ後は焼き鳥やフライドチキンを見てクスツと笑ったり、思わず部位を確認したくなったりするかもしれません。

食卓でも楽しめる鳥類学を味わってみてください。

外国文学のススメ



2024年度に橋本図書館に入った本をご紹介します!!

929.1

『韓国文学の中心にあるもの 増補新版』

斎藤 真理子／著

イースト・プレス 2025

933.7

『黒い蜻蛉 小説小泉八雲』

ジーン・パスリー／著 小宮 由／訳

佼成出版社 2024

B923.7

『台北裁判』

唐 福睿／著 よしだ かおり／訳

早川書房 2024

930.268

『シャーロック・ホームズの世界大図鑑』

アンドルー・ライセット／著 日暮 雅通／訳

河出書房新社 2024

しろくまさんのぶらぶらいにこう

この広い世界には旅をする動物たちがいます。

どうして旅をするのでしょうか。

どうやって旅をするのでしょうか。

それはどんないきものなのでしょうか。

アカウミガメは生まれた浜辺を目指して、アフリカゾウはアフリカ大陸をめぐる
長いみちのりを、サケは海や川へときびしい旅へ、みんな精一杯に生きています。

そんな仲間たちの姿に、しろくまさんも興味津々です!

雄大な世界を目指すいきものたちの冒険に触れてみませんか。

旅になぞらえたしかけがついた、動物たちの不思議に魅了される一冊です。



J481

『動物たちは、冒険家!』

キム・トマス／文 フリオ・アントニオ・ブラスコ／絵
字野 和美／訳

河出書房新社 2018

